

2003 年度 経済原論 : 期末試験

2004 年 1 月 28 日 (水) 実施

< 解答・採点基準 >

[第 1 問]

限界便益 = 限界費用

$3000 = 1000H$ より $H=3$ (5 点)

利益 = $9000 - 4500 = 4500$ (5 点)

限界便益 = 限界費用の条件は変わらないので最適な授業時間数は不変 (5 点)

利益 = $9000 - 4500 - 3000 = 1500$ (5 点)

利益が 0 より小さくなると存続できないから、諸費用の限界は 4500 (5 点)

[第 2 問]

均衡の図 (5 点)

均衡以外の図と死重損失 (5 点)

均衡の図 (5 点)

外部性も含めた図 (5 点)

死重損失 (5 点)

[第 3 問]

プラス面: 既雇用者の最低賃金上昇 (2 点)

マイナス面: 失業の発生 (3 点)

ホームレスの発生 (10 点)

需要曲線: 水 > ダイヤモンド (3 点)

供給曲線: 水 < ダイヤモンド (3 点)

交点の比較 (4 点)

(弾力性に関する記述のみの場合には 5 点)

[第 4 問] ミクロ経済学のテキストや授業ノートを参照のこと。

消費の非競合性 (5 点)

排除不能性 (5 点)

利潤最大化 (5 点)

機会集合 (5 点)

需要曲線・供給曲線のシフト (5 点)

[第 5 問]

寄付点の平均は 1.50、0 点の者の割合が高く、フリーライドの傾向が強く出ました。